

2026 年度 TUT-UniMAP-SU グローバル PBL (国際共創型社会課題デザインプロジェクト) 募集要項

マレーシア・ペルリス大学・豊橋技術科学大学・信州大学の3大学が協働して実施する「国際共創型社会課題デザインプロジェクト」の参加者を募集します。

持続可能な未来を目指して、地域社会が抱える課題を解決するため、より実践的な能力を有するグローバル人材の育成等を目指して実施するものです。

研修テーマ：「島の未来を共にデザインする。多国籍チームで挑む本気の社会課題 PBL」

本プログラムは、マレーシア・ペルリス大学 (UniMAP) が中心となり、本学と豊橋技術科学大学が協働して実施する「国際共創型 PBL (Project Based Learning)」です。

舞台となるのは、マレーシア・ランカウイ諸島に位置する「Pulau Tuba (トゥバ島)」。

観光地化されていない素朴な自然と伝統的な生活が残るこの島をフィールドに、現地学生を含む3大学混合チームで、社会課題解決に取り組んでもらいます。「SDGs」「CSR」をキーワードとして、地域コミュニティに入り込み、持続可能な未来のための課題解決策を本気でデザインする5日間です。「社会課題解決能力」「グローバル協働力」を養う絶好の機会となっています。

1. 研修目的

異なる人種・文化・宗教が共存する海外で行う多彩な活動に主体的に参加することにより、グローバルな視野を持ち、世界で活躍できるグローバル人材に必要とされる「グローバル対応力」をより一層強化します。

国際共創型課題解決プロジェクト (PBL) への参加を通じて、地域社会の実態を理解しながら社会課題を発見・分析し、多国籍チームの中で持続可能な社会づくりのための課題解決策を創出することで、「社会課題解決力」「グローバル協働力」を身につけることを目的とします。

2. 研修期間

<事前 Online Lecture>

- ・実施時期：①7/16 (木) 15:00-16:00 ②8/20 (木) 15:00-16:00
③8/20 (木) 16:15-17:15 ④8/27 (木) 15:00-16:00
⑤8/27 (木) 16:15-17:15
- ・実施形態：オンライン (GoogleMeet、Zoom 等)

<現地プログラム>

- ・2026年9月5日 (土) ~9月10日 (木)
- ※本学独自の研修が追加される場合があります。

3. 対象者

【募集対象・人数】

- ・全学部生：10名 (豊橋技術科学大学及び現地大学からも別途募集)

【応募資格】

- ・研修に参加する積極的な意欲を有すること
- ・語学力を高める意欲があること (TOEIC500点目安、研修後550点目安)
(英検/TOEFL/IELTS/Duolingo English Test/iTEP (Academic) のいずれか同等以上のスコアも可)
- ・大学のルール・規則を遵守すること
- ・研修に随行する教職員及び研修先機関の指示に従うこと

- ・研修参加に関し、保護者の了解を得ていること
 - ・海外での研修に参加できる健康状況であること
 - ・上記事前学習、危機管理ガイダンス及び現地プログラムの全日程、事後学習に参加できること
 - ・BEVI テストを研修前、研修後に受けること。
- *BEVI とは (BEVI (Beliefs, Events, and Values Inventory)は、知識やスキルといった顕在的な部分ではなく、動機・価値観・信念といった潜在的な部分における個人の変化を測定するツールです。心理学や統計学の理論を基盤に作られ、海外、異文化体験による意識・能力の変化を測ることができます。参加決定後、受験方法等をご連絡します。

4. 研修内容

<事前 Online Lecture>

- ・マレーシア文化理解
- ・SDGs・CSR と地域課題分析 等

<現地プログラム>

- ・豊橋技術科学大学及びマレーシア・ペルリス大学 (UniMAP) の学生を交えたグループワーク
- ・トゥバ島でのフィールドワーク
- ・ハッカソン：グループワーク・ディスカッション・発表 (現地大学の現役教員によるファシリテーション) 等

5. 研修場所

マレーシア・ペルリス大学及びトゥバ島 (ランカウイ近隣)

6. 応募方法

参加希望者は、下記の項目について **5月28日(木)** までに提出してください。
 なお、原則として **申し込み後のキャンセルはできませんので、ご注意ください。**

(1) 応募者が大学へ提出するもの

提出期限：**5月28日(木)**

提出先：Google ドライブ (<https://forms.gle/Hofib94Lr9KsEYKh6>)

	提出物	提出形式	備考
1	参加希望理由書	PDF	様式は こちら からダウンロードしてください。
2	英語能力試験成績証明書 (TOEIC や英検等) の写し	PDF または画像	
3	同意書	PDF または画像	様式は こちら からダウンロードしてください。

【選考基準】

- ①志望動機の明確さ・具体性：なぜこのプログラムに参加したいか、何を学びたいか
- ②SDGs・国際協働への理解・関心：社会課題解決に対する意識の高さ
- ③英語コミュニケーション能力：議論に参加する意欲と基本的なコミュニケーション力
- ④チームワーク・主体性：多様な背景を持つメンバーと協調できるか

7. 参加者の決定

書類選考のうえ参加者を決定する。必要に応じて個別面接を行う場合がある。
2026年5月下旬までにメールにて申込者全員に結果を連絡予定。

8. 奨学金（採択プログラム予定）

奨学金の受給を希望する場合は、下記の要件を確認の上、応募時にフォームへ回答してください。必要書類については参加決定後に受給希望者へ別途案内します。

※奨学金の振込はプログラム開始後または帰国後となります。

<信州大学知の森基金> 給付予定額 7万円（返済不要）

受給要件

1. 過去同一課程において短期海外研修を目的とした本奨学金を受給していないこと
2. 本研修参加に係る他の奨学金を受給しないこと

※所属学部を通して旅費または旅費相当の受給を予定している等の場合、本奨学金とあわせて受給できる場合があります。

※ 奨学金を受給する場合は、必ず共通教育科目「国際教養」の単位取得申請をすること。

※ 受給が決定した場合には、研修前・研修後に依頼するアンケート・報告書等の提出が義務となる。

※ 事前・事後学習を含めた全期間に参加できない場合、奨学金の返還を求めることがある。

9. 必要経費・支払い方法

- 1) 研修参加費：120,000円

参加費でカバーされるもの：

- ・現地での研修活動実施に要する経費（現地宿泊費、現地移動費、視察先入場料、その他現地プログラム実施・調整に要する経費）
- ・一部の食事代（研修参加費に含まれる食事については日程表（後日配布）を参照すること）

【研修参加費支払い方法】

参加者決定後、所定の銀行口座への振り込みについてご連絡します。

- 2) 自己手配するもの：以下の経費は、別途自己負担、各自手配となります。

- ・日本ーマレーシア・アロースター空港の往復国際航空運賃【約10～25万円】

目安の金額です。手配の時期、出発地、手配旅行会社等により金額が異なります。フライトについては「10.その他」もよくご確認の上、自己手配をお願いします。

- ・空港までの往復国内交通費、旅券取得費用、国内宿泊代、期間中の食事代（ただしプログラム上で提供されるものは除く）、超過手荷物手数料、現地でのインターネット代、自主企画活動中の移動費・入場料、個人的な小遣い等

- ・海外旅行保険料（急病等で現地の病院で診療が必要となった場合等のために必ず加入してください。大学指定の保険（危機管理サービスを含む）に加入いただきます。約5,000円）

10. 研修終了時のフォローアップ

- ・研修最終の振り返りセッションにて、ご自身の学びを深めるため、アンケートにご回答いただきます。

- ・閉会式にて、修了証を授与する予定です。

- ・帰国後、研修報告会を実施します（日程は別途連絡）。

- ・BEVIテストを受験いただきます（別途連絡）。

11. その他

- ・参加者に対しては、海外研修実施前に渡航前説明会や事前研修を実施します。詳細は追っ

て連絡します。

<フライトについて>

- ・本研修は現地空港集合、解散型の研修です。ランカウイ国際空港への移動は各自行ってください。
- ・危機管理のため、9月5日(土)ランカウイ国際空港到着、9月10日(木)15時以降ランカウイ国際空港出発となるフライトにしてください。集合と解散の空港が異なりますので、注意してください。利用する空港の都合上、難しい場合はフライト予約前に一度ご相談ください。
- ・航空券の手配は各自で責任を持って行ってください。各自が手配したフライトについて、大学が航空券や乗り方等についての案内をすることはありません。
- ・フライトは、参加者本人が問合せ可能な航空会社のものを予約してください。格安航空券の場合、日本語対応窓口が無く、英語でメールまたは電話をしなければならぬ場合がありますが、大学は航空会社に問い合わせることはできません。また、フライト乗り継ぎ中に、次に搭乗する予定であったフライトが急遽欠航になることも希にあるため、本人が直接問い合わせできる航空会社であることが重要です。

【モデルルート】

往路			
9/4 (金)	21:45	東京 (成田) 国際空港 出発	マレーシア航空 MH71 便
9/5 (土)	04:30	マレーシア・クアラルンプール国際空港 到着	
	09:25	マレーシア・クアラルンプール国際空港 出発	マレーシア航空 MH1432 便
	10:35	マレーシア・ランカウイ国際空港 到着	
復路			
9/10 (木)	20:25	マレーシア・ランカウイ国際空港 出発	マレーシア航空 MH1459 便
	21:40	マレーシア・クアラルンプール国際空港 到着	
	23:30	マレーシア・クアラルンプール国際空港 出発	マレーシア航空 MH88 便
9/11 (金)	07:40	東京 (成田) 国際空港 出発	

12. 注意事項

- ・研修に関わる費用については保証人ともよく相談したうえで、経済的な裏づけをもって応募してください。
- ・今後の世界情勢の変化により、プログラムの実施を中止または延期、あるいは内容を一部変更する可能性があります。
- ・申込者が募集人数に満たない場合、プログラムは中止となる場合があります。
- ・応募多数の場合は、英語スコア保持者、国際共修科目群の授業履修者を優先します。
- ・学業に支障がないことを、指導教員、所属学部等へ申込前に確認してください。
- ・研修参加費用振込後に辞退する場合は、キャンセル料が発生します。研修参加費用振込後にキャンセルすることのないよう保証人ともよく相談したうえで申込をしてください。
- ・6月26日(金)までにパスポートのコピーを提出いただく予定です。応募時点で有効なパスポートを所持していない場合は、研修参加決定後すぐに新規・更新申請の手続きを開始してください。
- ・渡航にあたって予防接種が必要と考える方は、危機管理ガイダンスや厚生労働省ホームページを参考にして準備することをお勧めします。

13. キャンセルポリシー

参加決定後、プログラムの参加取り消しを行う場合、下記のキャンセル料がかかります。

1. 研修参加費用
2. 航空券代

14. お問い合わせ

- 応募やプログラム内容等研修事業全般に関する問合せ

信州大学グローバル化推進センター
准教授 浜野 充
国際企画課：宮坂・佐々木

浜野：hamano_m@shinshu-u.ac.jp

Tel: 0263-37-3403 (直通)

国際企画課：gecgd@shinshu-u.ac.jp

Tel: 0263-37-3167

- 応募書類（申込書・英語検定試験等の成績表・承諾書）やその他の提出物に関する問合せ

信州大学国際企画課

Email: gecgd@shinshu-u.ac.jp

【参考】2026 年度 暫定実施スケジュール

※日程が変更となる場合はお知らせします。

月 日	項 目	提出方法等
5月28日(木)必着	申し込み(参加希望理由書・英語能力試験成績証明書の写し・同意書の提出) (各学生→大学)	オンライン (Google Form)
5月下旬以降	採否通知 (大学→各学生)	
6月12日(金)	参加費の銀行振込み締切 (各学生→大学)	指定口座に振り込み
6月下旬	参加者への事前説明会、参加者同士の自己紹介セッション実施	対面またはオンライン (ハイブリッド含む) で実施
6月26日(金) 17:00 必着	パスポート情報、個人情報および肖像等の使用に係る許諾の提出締切	オンライン (参加者各自にて) ※提出先情報は後日連絡します
7月9日(木) 16:30-17:30	参加者事前研修① 「マレーシア文化」	オンラインで実施
7月16日(木) 15:00-16:00	Online Lecture①	オンラインで実施
7月16日(木) 16:30-17:30	参加者事前研修② 「ファシリテーションとは」	オンラインで実施
7月23日(木) 16:30-18:00	参加者事前研修③ 「安全講習」	対面で実施 (高専生はオンライン参加)
7月31日(金) 17:00 必着	海外渡航届の提出、大学指定の海外旅行保険加入期限	オンライン (参加者各自にて) ※提出先情報は後日連絡します
8月20日(木) 15:00-16:00	Online Lecture②	オンラインで実施
8月20日(木) 16:15-17:15	Online Lecture③	オンラインで実施
8月27日(木) 15:00-16:00	Online Lecture④	オンラインで実施
8月27日(木) 16:15-17:15	Online Lecture⑤	オンラインで実施
9月5日(土) -9月10日(木)	研修実施	
9月以降	参加報告会の開催	